

## 会 議 録

会議の名称	平成24年度第6回富士見市社会教育委員会議
開催日時	平成24年12月1日(土) 午前9時30分～12時
開催場所	教育委員会 2階 会議室
出席者	中澤佳珠代委員、前田憲之委員、児玉亮一委員 西山ひろみ委員、武田秀規委員、高野昂子委員 長ヶ原美博委員、田尻 円委員、佐藤晃子委員 事務局(生涯学習課長、副課長)
欠席者	1人(羽石貴裕委員)
公開・非公開	公開(傍聴人 0人)
会議次第	1. 協議事項 (1) アンケート「地域活動の活性化と次代を担うなかまづくり」の結果について 2. 報告及び連絡事項 (1) 平成24年度入間地区社会教育委員研修会について (2) 入間地区社会教育協議会第4回社会教育委員部会について て (3) その他 3. その他 (1) 会議の開催について
会議資料	①公民館だより(11・12月号) ②第27回地域自治シンポジウムチラシ
会議録確認	西山ひろみ委員

## 会 議 内 容 (要点記録)

### ○ 議長あいさつ

### ○ 報告及び協議事項

#### 1. 協議事項

#### (1) 協議テーマ「地域活動の活性化と次代を担うなかまづくり」の結果について

- 進行議長から、本日の協議は、前回の協議とその後のグループ（A：文化活動 B：子ども関係）ごとの協議状況を報告をいただき、その後、アンケートの結果についての意見交換をすることとし、了承された。

#### A：文化活動グループの報告

アンケートを基に、文化活動団体を13分類に分けた。この中では、主年齢が40歳代にサークルが15%ぐらいで、そのほかは高齢化している状況にあった。全体を通して、活動が活発な団体を4つピックアップし、聞き取り調査を行いたいと考えている。

#### B：子ども関係グループの報告

アンケートを整理してみたところ、回答者の男女構成比は女性の構成3分の2を占めている。しかし、活動者では男性が多いところも多い。子ども関係の活動者の年齢では30・40代が7割を占めている。一方、地域活動では60代以降である。全体を通して、50代が抜け落ちている状況がわかる。

組織単位での男女構成比では、PTA・子ども教室などでは女性の割合が高い。年代や性別などでの違いも出ているので、今後分析をしていく必要がある。

- 続いて、各グループの報告とそれぞれに見たアンケート結果を受けての感想を各委員から発言をお願いすることとした。

#### ●主な意見・感想は以下のとおり。

- ・ 課題が鮮明になってきたと思う。文化活動と子ども関係でそれぞれに分析されているが、特に文化活動の構成メンバーがこれだけ高齢化してきたデータはいままでなかった。これは、ある意味、社会教育の危機的状況である。施策としての重要なポイントになってくる。各団体でもこのことを課題としてもちながら、どう活性化していくのか。実際、高齢化の中で、公民館に来ることができなくて、メンバーが減り、やめてしまうのを見てきている。一方、新しいサークルは出てこない状況では段々構成団体は減ってくる。文化祭の反省会でも来年は参加できないということもある。このことが数字として出てきたのは初めてではないか。十分議論し、施策として何をしていったらよいか、提言していくのがよい。
- ・ 地域の活動では、担い手問題がある。社会教育では不足している部分、30代・40代がそこにはいる状況がある。そして、活動でプラスになっているところもあるという意見があったと思う。いままで、このようなアンケートがなかったので、よかった。

- 子ども関係では30代・40代、文化活動では60代が多い。50代の方が活動しているのは少ない。これは、何らかの理由があつてのことか。活動が継続していかないことを分析することが必要に思う。
- 子どもがいると活動に参加し、それが終わるとスポッと抜けてしまうことがあるのだろう。PTA活動をして、つぎは町会だということには、ちょっと休ませてほしいという思いもある。
- 文化活動で見ると、民間の様々な教室が多くなってきている。お金を払ってサービスを受けることになるが、そこに行く方が増えてきていることもある。
- 文化活動では、「シルバー」という名のついたサークルがあるように、60代以降で入ってくる方が多い。
- いまの50代男性は独特な年代かもしれない。仕事に忙しくて、育児や家事に参加していない方が多い。一方、今の40代は、育児やごみ出しなどなんでもやっている年代で、この年代が50代になるとどうなるか、見ていく必要があると考えている。
- 50代で、PTA活動をしてきたが、子どもの手が離れたが、一方、進学などで負担が増え、仕事をしなければということもあり、自由な時間がない。若い女性などは仕事が終わってもカルチャーセンターなどで趣味をやったりしている。こういう方たちは、結婚して子育てが終わると、趣味的な活動に入っていくのか。ただ、男性は難しいかもしれない。PTAなどに関わっていればその後はないか。
- PTAや子ども会では、子どもがいなくてだめという規約などがある。子どもがいなくても関わられるようにしていかなければならない。それが課題と考えている。今後の活用を考えることが大事である。また、活動をしてよかったという声を広げていくことが必要ではないか。
- 文化活動の方が何をきっかけに入ってきたのか知りたい。女性は若いころいろいろと活動をしたりしているが、そこが入りやすい理由ではないか。これから話を聞いたらそれを聞き出してほしい。また、民間の教室でなくて、こちらを選んだ理由も聞いてほしい。それから、50代の特徴ということもあるが、いまの30～40代の方が50代になっていくときの活かせる部分と注意しなければならないこともあるかもしれないので確認したい。
- 今の公民館は昭和55年から56年にかけて新しくしてきた。そして、そのときはその部屋を埋めるだけのサークルを作ろうと取り組んできた。職員は夜10時まで勤務で、講座などを打ってきた。そして、それがサークルになってきた。その後は、サークル作りの取り組みは行わず、地域の課題などの講座に

シフトしていった。高齢化は仕方ないが、もう一度、サークル作りの講座も必要かもしれない。

- ・ 昭和50年代には、公民館には地域で活動する40代サラリーマンは少なく、商店会の方などが多かった。その中で公民館では講座を行い、その後サークル募集をしていた。そこに参加して活動に参加するようになった。人との付き合いから、地元根ざす活動に参加してきた経過がある。何かしないと地元に入られないということを提言に入れていく必要があるのではないか。
- ・ 若い世代では、携帯などに頼らず、コミュニケーションができるようにしていくことも必要と思う。
- ・ 子ども会活動が終わってから、公民館だよりの編集委員になり地域のことがわかるようになった。また、新しいことも教えてもらうことができた。PTA活動が終わり晴れ晴れと思うこともあったが、それからなにか少しずつ地域に入っていくこと、関わっていくことがいいのかと思う。

○ ここで、意見交換を終え、今後どうまとめていくか各グループ単位で協議してもらったことにした。終了後、まとめをそれぞれに行ってもらった。

A：文化活動グループの報告

- ・ 活動している4団体から、1月中に聞き取りを行い、2月中旬にまとめる。
- ・ 聞き取りの主な内容は、\*なぜ民間でなくサークル活動か。 \*なぜ50代でやめるのか。 \*どのように募集しているか。 \*なにが楽しくて活動をやっているか \*発表の場をどうしているのか。 \*なにか行政へのリクエストはないか。 \*活動に対して会員からどのくらい会費をもらっているか。 \*どうして若い人がいないか。 \*入ったきっかけはなにか。 \*サークルができたきっかけはなにか。 以上とした。

B：子ども関係グループの報告

- ・ 特定の団体への聞き取りは、団体が子ども中心であることと特色を見出せないもので、行わないことにした。
- ・ 課題がそれぞれの団体にあるので、精査して考察を加え提言としていきたい。そのなかで、例えば、地域子ども教室のメンバーを一堂に会しては難しいので、必要であれば、1中学校区の中だけで集まってもらい意見を聞くなどは行いたい。

○ 全体については、これからはグループ単位でまとめ、3月には素案を作り、その後協議していくこととした。なお、以下のことも調査できないかという意見が出された。

- ・ Aグループでは、可能性があれば、カルチャーセンターには若い人が集まっていると聞くので、どのような状態か調査できればお願いしたい。
- ・ Bグループでは、課題がはっきりしているが、活動が終わってからも楽しんでいけるように、地域子ども教室などで直接的なかわりがなくなっても、いられる居場所になるのが、最終的な形かもしれない。そのような事例があれば調査をお願いしたい。

## 2. 報告及び連絡事項

### (1) 平成24年度入間地区社会教育委員研修会について

10月16日(火)午後0時40分～4時30分 日高市総合福祉センター  
＜参加委員＞羽石委員、長ヶ原委員、武田委員、田尻委員 以上4人。

### (2) 第36回人権を考えるつどい

11月12日(月)午後2時～ 三芳町総合体育館  
テーマ：平和と人権  
＜参加委員＞高野委員、中澤委員 以上2人。

### (3) 生涯学習関係5委員研修会について

- ・ 平成25年1月26日土曜日 午前11時から 鶴瀬西交流センター

### (4) 地域シンポジウムについて

- ・ 防災シンポジウム 12月15日土曜日 午後1時から 鶴瀬公民館
- ・ 全体シンポジウム 平成25年3月10日日曜日 午後1時から  
鶴瀬西交流センター

※参加者の意見を聞くことを中心に行う。

## 3. その他

### (1) その他

- ・ 次回の日程は、平成25年2月2日土曜日、午前9時30分からとする。改めて、通知する。

(閉会)